



門川町教育研究所では、子ども一人一人の確かな学力の向上をめざして、教育研究や情報発信を行っています。今回は、子どもの夢を育てるために『明日への一步』では、『学校の先生』を紹介します。教育研究所報告は、子どもの夢を育てるための工夫として、『子どもを応援しよう』『子どもと話をしよう』という内容にしました。是非、お役立てください。

明日への一步

* 教育研究所は、子どもの夢を応援します。
今回は、学校の先生の仕事を紹介します。子どもに人気のある仕事の一つです。

学校の先生

先生には、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、大学（短大・四年制大学）、専門学校などの先生があり、教え、育てることを主な役割とする大切な仕事です。

どんな仕事をしますか？

幼稚園の先生から大学の先生まで、大変はばの広い年齢の子どもを教えますが、免許により教える学校が決まっています。子どもの学習や生活など、子どもを育てるための仕事を、
お父さんやお母さんと協力してがんばっています。



どうしたらなれますか？

- ① 教員養成大学を卒業して資格をとります。（1種・2種・専修免許）
 - ② 都道府県の検定試験を受けて資格をとります。（臨時免許・特別免許）
- 免許をとった後に、
都道府県の採用試験に合格して先生になります。



どんな人が向いていますか？

子どもや親に信頼されないと教育はできません。また、自分自身が常に学ぶ気持ちをもっていなければなりません。

- 教育に関心がある人・進んで学ぶ人
- やる気があり、熱心な人
- 子どもが好きで責任感のある人



仕事の喜びややりがい！

何よりも成長した子どもの姿を見ることが出来る幸せな仕事です。

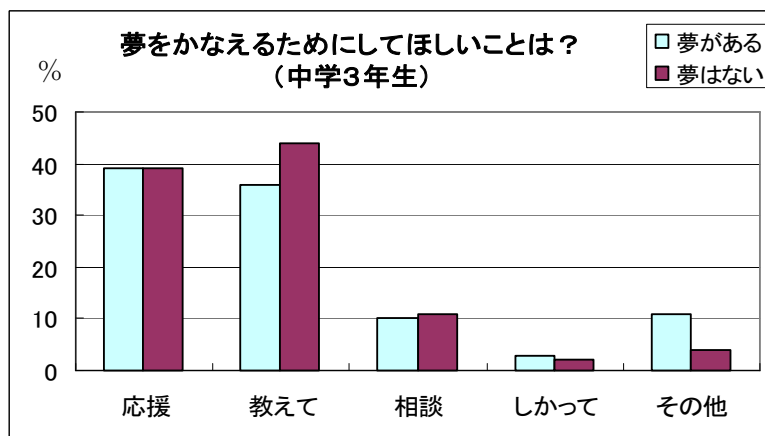
子どもが分かるようになった、できるようになった時のうれしそうな笑顔を見ることが出来ます。

子どもの命と安全を守るという重大な責任をもっています。



子どもの夢を応援しよう！

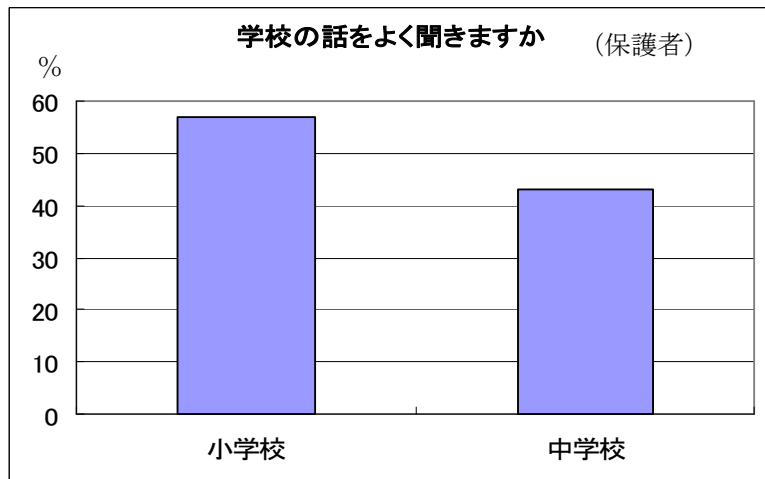
○ 子どもは応援してほしい、教えてほしいと願っています。



会話が次第に少なくなっていく中学3年生の頃でも、子ども達は、自分の夢を応援してほしい、将来どのように進んだらよいのか、教えてほしいと願っています。

このような時こそ、親の出番です。親自身の経験を語って聞かせる、一生懸命に生活をする親の姿を見せることで、子どもを応援しましょう。子どもの夢を、応援しましょう。

○ 子どもと一緒に学校の話をしてしましょう。



子どもが成長するほど、学校の話をしなくなるようです。しかし、子どもが話す「学校の話」を、親がしっかり聞くことはとても大切です。

子どもの話を聞くことは、子どもの変化をつかむだけでなく、子どもの将来の夢や目標を育てることにつながります。さらに、子どもの学力を高める原動力にもなります。

子どもと一緒に、学校での学習や生活の話をしてしましょう。

教育研究所からのメッセージ

子どもは、成長するほど、何でもできる、何でも知っているような顔をしています。しかし、実際にはどうしたらよいのか迷っています。応援してほしい、教えてほしいと願っています。子どもの話によく耳を傾けて、子どもとの会話を大切にしましょう。子どもと一緒に、学校の話をしてしましょう。

~~~~~キリトリセン~~~~~

\* ご意見やご感想がありましたらお寄せください。(担任まで)